

【敷き込み完了後の確認事項】

製品の敷き込み完了時や、土台の敷き込みが完了した時点で以下のことを確認してください。

チェックシート

※項目ごとに確認・完了のチェックを入れてください。

		確認	完了
①	気密スペーサーは、隙間なく敷き込まれていますか？		
②	気密スペーサーの気密材は連続していますか？(コーナー部分等)		
③	内基礎用スペーサーは、施工ルール通り敷き込まれていますか？		

※土台敷設後に気密スペーサー及び内基礎用スペーサーと土台との間に隙間が生じる場合は、基礎天端の不陸が原因と考えられますので、調整板(別売品)を差し込み、土台の事後の不陸発生防止に備えてください。

Joto

要保存

気密スペーサー PAT.

SK-1010-L100・SK-H100-L100・SK-H100-L04
SK-1410-L100・SK-H140-L100・SK-H140-L04

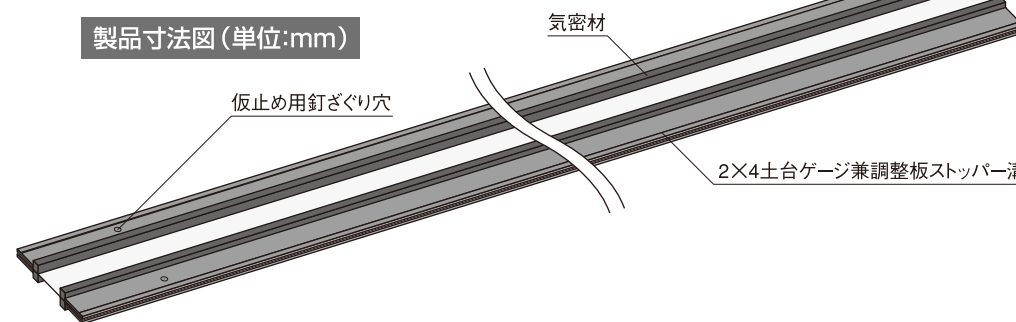
施工説明書

この度は気密スペーサーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本施工説明書を施工の前に必ずお読みいただき、説明書に従って正しく施工してください。

取扱

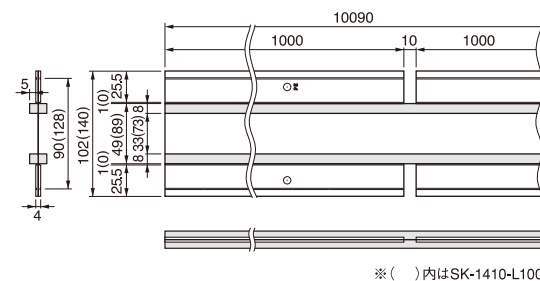
※気密スペーサー SK-1010-L100・SK-H100-L100・SK-H100-L04は、在来工法の105角・120角、2×4工法の404(204)・406(206)の土台にご使用いただけます。
また、SK-1410-L100・SK-H140-L100・SK-H140-L04は、2×4工法の406(206)、在来工法の150角の土台にご使用いただけます。

製品寸法図(単位:mm)



外基礎用

気密スペーサー: SK-1010-L100・SK-1410-L100

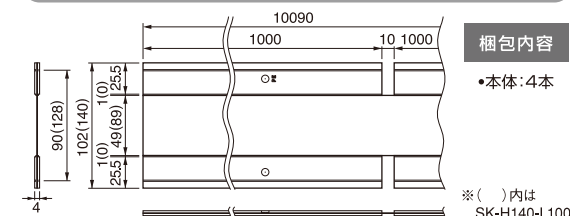


梱包内容

•本体:4本 •本施工説明書:1通 •ジョイント用気密材:30枚

内基礎用

気密スペーサー: SK-H100-L100・SK-H140-L100

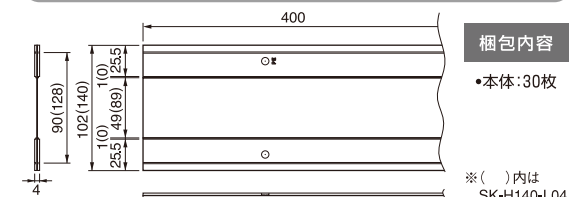


梱包内容

•本体:4本

※()内はSK-H140-L100

気密スペーサー: SK-H100-L04・SK-H140-L04



梱包内容

•本体:30枚

※()内はSK-H140-L04

城東テクノ株式会社

本社:〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-14-1
Tel.072(868)6611(代) Fax.072(868)6687

◎本製品に関する技術上のお問い合わせは **フリーダイヤル【J】:0120-106011**

本施工説明書の示す使用取扱い条件を逸脱した場合は、本製品に関する性能・品質及び構造体の安全性についての保証は出来ません。

城東テクノ株式会社

取扱いと注意事項

- ① 基礎天端が水平(平滑)に仕上がっているかを確認してください。
※基礎天端の不陸が大きいと気密不良の原因となります。
- ② 気密スペーサーについている気密材は、はがさずに使用してください。
- ③ 気密スペーサーに対して、不必要な打撃や加熱を加えないでください。
- ④ 気密スペーサーは、気密を要する箇所に、隙間なく敷き込んでください。
- ⑤ 気密スペーサーの長さ調整及び出入隅加工は、万能バサミ等で行ってください。
- ⑥ 土台敷設後、気密スペーサー及び内基礎用スペーサーと土台との間に隙間が生じる箇所には、必ず別売品の調整板を使用してください。(土台の事後の不陸発生防止)
- ⑦ 気密スペーサーの切断箇所には、必ず付属のジョイント用気密材を表裏共に貼り付けてください。

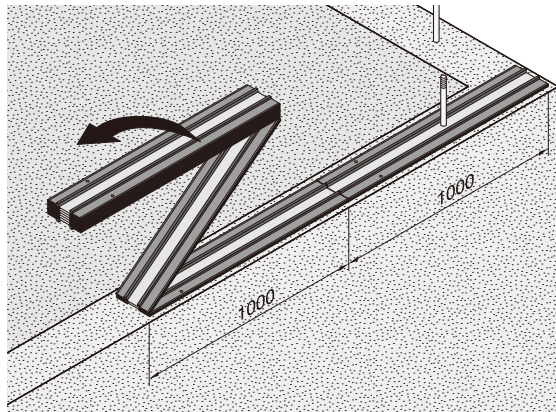
1 施工ルール(敷き込み位置)

気密スペーサーは、外周基礎など気密を要する箇所に隙間なく、連続して敷き込んでください。内基礎には、内基礎用スペーサー SK-H100-L100またはSK-H140-L100を全周に敷き込むか、SK-H100-L04またはSK-H140-L04を内基礎に4つの施工ルールに従って敷き込みます。

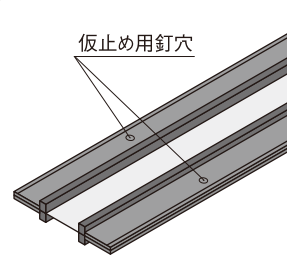
内基礎用スペーサーの施工ルール(敷き込み位置)

- ① 柱など荷重が集中してかかる部分に1枚
- ② アンカーボルトの緊結部分に1枚
- ③ 土台の継ぎ手部分に1枚
- ④ 敷き込み間隔は3尺(1m)以内に1枚とする(枠組壁工法において耐力壁直下では0.5P間隔で1枚敷き込む)

2 施工方法



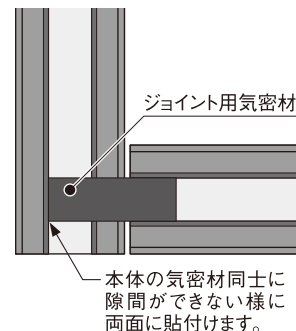
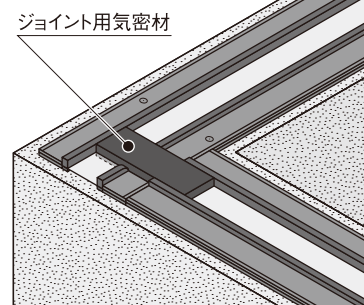
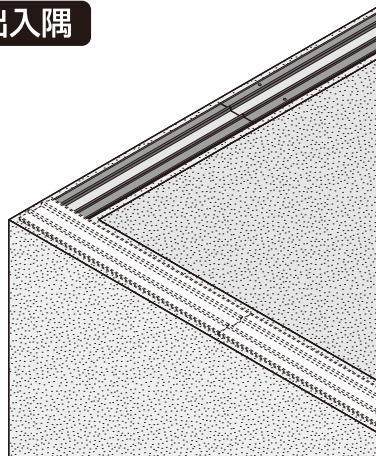
気密スペーサーは、気密の要する箇所に隙間なく敷き込みます。気密スペーサーを敷き込んだ後に内基礎用スペーサーを敷き込みます。



- 敷き込みは、アンカーボルトに突き差しながら設置します。
- 敷き込みの際、仮止めが必要な場合は、仮止め用釘穴にコンクリート釘を打ちます。

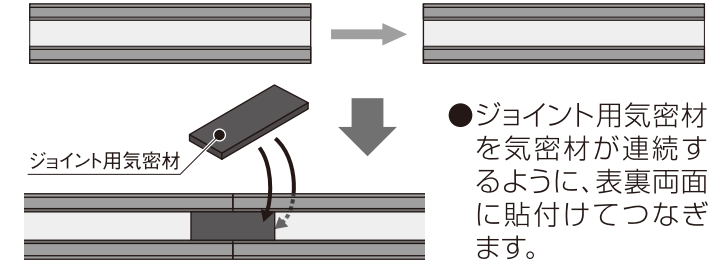
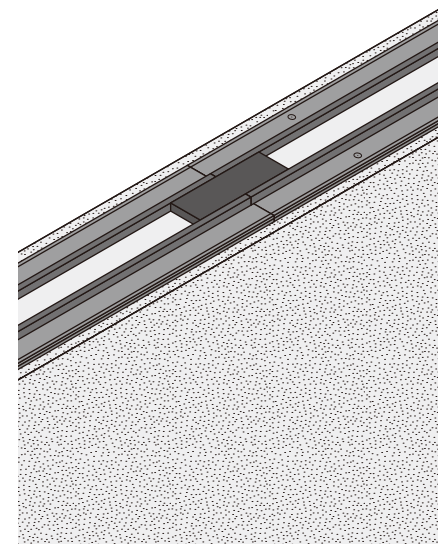
3 コーナー部分の納め方

出入隅

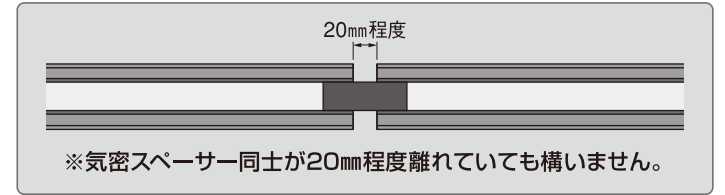


- ジョイント用気密材を気密スペーサー本体の両面に貼付けます。

4 ジョイント部分の納め方



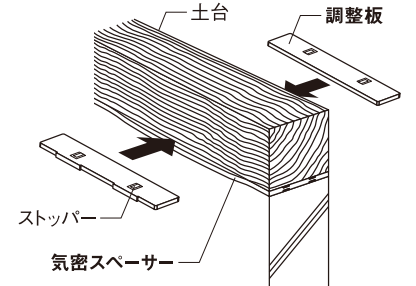
- ジョイント用気密材を気密材が連続するように、表裏両面に貼付けてつなぎます。



※気密スペーサー同士が20mm程度離れていても構いません。

5 調整板[別売品]の施工方法

- 調整板は、厚さ1・2・3mmがございます。調整板を使用する箇所で隙間の高さが違う場合は、隙間の高さに合わせて使用してください。
- 調整板は、2枚で1セット(水平レベル)ですので、必ず偶数枚で使用してください。
- 調整板の取付けは、気密スペーサーの両サイド(基礎の内と外)から、気密スペーサーの上(土台との隙間)に差し込み、手で入らない場合は、ハンマーなどで軽く叩き込んで土台の下に完全に挿入してください。
- 調整板の重ね枚数は2セット(6mm)までとし、2セット使用する場合は、気密スペーサーの上下(表裏)に調整板を1セット毎差し込んでください。



※6mmを超えますと気密性能の確保ができなくなります。

※調整板を奥まで差し込んで気密スペーサーの表裏のストッパー嵌合部(溝部)へストッパーを嵌合させセットしてください。

※調整板が必要な場合は、最寄りの支店・営業所へお問い合わせください。